

2027 年度入試

奈良大学

総合型選抜(AO入試)第1回

各学科の適性確認課題

奈良大学入試広報センター

(20260420 版)

国文学科 課題

課題内容

奈良大学文学部国文学科の紹介サイトで公開される模擬授業動画①～⑥を閲覧し、その中から1つ選び、授業内容の要約と、あなたがその授業から学んだことを、レポートとして作成してください。

奈良大学文学部国文学科の紹介サイト

<https://www.nara-u.ac.jp/faculty/jpn/>



模擬授業動画①「外地文学とその時代」



模擬授業動画②「江戸時代の『黄表紙』と出版」



模擬授業動画③「古典の本文は変わる」



模擬授業動画④「日本語の歴史」



模擬授業動画⑤「神話伝承論」



課題の作成要件

・推奨ソフト：Microsoft word

- ① パソコンで横書きで入力し、A4サイズで印刷すること。
- ② 自分で考えたタイトルをつけ、氏名を書くこと。
- ③ 最初にどの文章を要約するかを書くこと。
- ④ 授業内容の要約は **400字程度**、その授業から学んだことは **1,600字程度** で書くこと。
- ⑤ 1ページあたり **40字×20行** で設定すること。※Google ドキュメントの場合は下記の設定を行うこと
- ⑥ 文字の大きさは **10.5ポイント** で設定すること。
- ⑦ 「要約」と「学んだこと」を分けて記し、それぞれの末尾に総字数を記入すること。
- ⑧ ホッチキスで綴じて提出すること。

※Google ドキュメントの場合

[ファイル]→[ページ設定]の[余白]: 上下 4.85、左右 4 [行間隔]: 2行 [フォント]: MS 明朝、11ポイント

※今回の課題は形式面も重視しています。上記の作成要件をしっかりと守ってください。

※その他質問がある場合は入試広報センターへ問い合わせてください。

史学科 課題

課題内容（発表資料）：自分で作成した何らかの成果（論文・年表・地図などの作品）を提出。

（国・地域・時代を問わず、自分で設定した歴史上のテーマ）

※「発表資料（課題）」の記入用紙は、各自で用意してください。様式、分量等に指定はありません。

なお、「発表資料（課題）」に加えて、「発表内容（発表予定のタイトルとその内容：800字程度）」の提出が必要になります。

※提出期間：8月25日(火)～9月7日(月)締切日必着

※9月19日(土)の適性確認日に、事前に提出した「発表資料（課題）」を基に、15分程度で発表し、教員との質疑応答を行います。

※参考資料として、以下の「歴史達人入試体験記<日本史編>」をご覧ください。

歴史達人入試
体験記
(日本史編)

小学生のころから関心があった鑑真の生涯について発表しました

ー歴史達人入試では、どのようなテーマでどのような成果を発表しましたか。

奈良時代に唐から来日した僧鑑真をテーマに研究成果を発表しました。私はオンラインではなく、大学において対面で発表をしました。パソコンが苦手な方だったので、手書きで資料や年表を作成し、それを大きな複数のパネルにして黒板に掲示しながら口頭で発表をおこないました。



田中さんが作成した年表、資料など

ー研究テーマにたどりついたきっかけは何ですか。

小学校のころ、教科書に鑑真の木像の写真が掲載されているのを見て惹かれ、それ以来、唐招提寺へ行ったりなどして鑑真のことを調べ、さまざまな知識を積み重ねてきましたので、鑑真をテーマにするしかないと思いました。

ー研究成果をまとめるまでに、とくに心がけたことや苦心したことは何ですか。

今回の研究成果をまとめるまでに、ある程度の知識はありましたが、安藤更生『人物叢書 鑑真』（吉川弘文館）といった本格的な参考図書が高校の図書館な

どにたく、それにたどりつくことに苦労しました。また、鑑真は唐の僧ですので、中国語の文献にもあたらなければならぬと思いましたが、なかなか読み込むまでには至りませんでした。

ー大学では、どのような研究をしようと考えていますか。

小学校のころから惹かれつづけている鑑真の研究をしたいと考えています。ですので、日本古代史のゼミに入って、より専門的に学んでいきたいと思っています。

ー先輩として受験生へアドバイスをお願いします。

口頭で発表するとき、あまり緊張しないよう落ち着いてできることが大事だと思います。また、テーマは自分が好きな内容を見つけ、楽しみながら調べることができるようにするのがよいと思います。



田中陽菜さん 大阪・英真学園高校

地理学科 課題

次の写真（A～Gの7枚）から2枚を選択し、それらの写真から読み取れること、考えられることを800字程度でまとめてください。

なお、2枚を関連させて考察することも可とします。



A



B



C



D

<次ページに続きます>



E



F



G

文化財学科 課題

課題内容

あなたが関心のある文化財を一つ取り上げて、そのことについて調べ、考えたことを、発表資料にまとめて作成し、発表して下さい。9月19日(土)の適性確認日に、発表資料を用いた15分以内のプレゼンテーションをしていただきます。

発表資料とプレゼンテーションについて

- ・身近な史跡、博物館や美術館で見た文化財や、本を読んだりして知った文化財など、どのようなものを選んで構いません。
- ・プレゼンテーションはオンラインで実施します。
- ・発表資料の様式、分量等に指定はありません。毎年、エントリーされる皆さんは、オンラインでのパワーポイントの画面共有をしたり、紙芝居風に画面に資料を示すなど、創意工夫をこらした自分らしい発表資料を作成しています。
- ・発表資料の最後に、対象の文化財について調べた際に使用した参考文献（本や論文のほか、インターネット上の情報の場合はサイト名とURL）を記載しておいてください。
- ・発表資料は、紙にプリントアウトしたり、複写するなどしたものを、エントリー時にその他の書類とともに提出してください。

提出期間

8月25日(火)～9月7日(月) 締切日必着

心理学科 課題

奈良大学社会学部心理学科のサイトに公開されている Web 授業の体験動画①～③を試聴してください（下記 QR コードもしくは URL から試聴可能）。動画①～③を試聴し、その中から1つ選んで、動画の要点（400 字程度）と動画から学んだこと（400 字程度）、合計 800 字程度にまとめて提出してください。

課題作成にあたっての注意点

- ・指定された原稿用紙を用いてください
- ・黒色ボールペンで書いてください
- ・どの動画を要約するか最初に書いてください
- ・課題はホッチキス止めしてください

Web 授業の体験動画①意識されない心の働き（村上 史朗）



<https://youtu.be/lHl0AO2hiks>

Web 授業の体験動画②とらえ方にはワケがある（林 郷子）



<https://youtu.be/JPbjrBmYY6A>

Web 授業の体験動画③心理学では見えない心をどのように研究するのか？（與久田 巖）



<https://youtu.be/cBfL8mgZl64>

総合社会学科 課題

【課題1】 次の社説を読み、筆者が AI について問題だと考えている点とその理由を整理して社説の内容を 400 字程度で要約しなさい。

【課題2】 あなたがこの社説を読んで考えたことや学んだことを 400 字程度で述べなさい。

(社説) 海図なき世界 AI に揺れる社会 主役が人であるためには

新しい技術には予期せぬリスクがつきものだ。人工知能 (AI) の普及がもたらす社会の変化に、敏感であらねばならない。行政の効率化を進めようと AI を導入したことで、深刻な人権侵害を招いたケースがある。オランダの税務当局が 2013 年ごろ、AI を使って児童手当の不正受給者を特定するシステムを導入した。その結果、約 2 万 6000 人に誤って返還請求をする事態が起きた。生活が崩壊し、うつ病や自殺未遂に追い込まれたケースもあった。AI のアルゴリズムで、外国籍の申請者は不正の可能性が高くなるよう設定されていたと報じられている。こうした問題を背景に、欧州連合 (EU) が 24 年に成立させたのが AI 規制法だ。リスクに応じて義務や罰則を定めた世界初の包括規制である。

< 偏見や差別生む恐れも >

AI のアルゴリズムは、いくつものリスクをはらむ。偏見や差別を含むデータを学習すれば、結果にもバイアス (偏り) が加わる。人種や出身地を基に差別的な扱いをした場合、ローン審査などで特定の人々が不利益を被る。AI のデータ処理の多くは、外部から見えない「ブラックボックス」になっており、偏りを見抜くことは難しい。学習過程で著作物が無断利用される著作権侵害も起きている。

専門知識がなくても使える生成 AI の登場により、民主主義の基盤が損なわれる可能性も出てきた。もっともらしい偽情報を容易に量産できることから、人々の認知をゆがめ、世論操作や選挙介入にも悪用され得る。サイバー攻撃や兵器への利用も懸念される。権威主義体制下で市民の監視に使われる恐れもある。

EU の欧州委員会でデジタル・競争政策を推進してきたマルグレーテ・ベステア一元上級副委員長は 24 年の演説で、核兵器が世界を変えたのと同様に、AI も社会の前提を変える力を持っていると指摘し、「技術が人類に挑戦している。リスクの制御が最優先課題だ」と訴えた。ただ、規制で国際的に足並みをそろえることは容易ではない。各国で安全保障や産業政策上の利害が異なるほか、AI の開発は主に民間企業が担っているからだ。開発をリードする米国では、AI 市場が今後さらに拡大するとの期待を背景に株価が上昇している。トランプ米大統領は、第二次世界大戦で原爆を開発した「マンハッタン計画」に比肩する国家事業として AI 開発を位置づけ、推進している。リスクが軽視されかねない状況だ。「チャット GPT」を手がける米オープン AI は 15 年、AI を通じて人類に貢献することを目指す非営利組織として設立されたが、巨額の費用がかかるとしてビジネス重視にかじを切った。厳しい規制は技術革新を阻み、企業競争力をそぎかねないとの批判を受け、EU も規制の緩和に動いている。

< 想像力でリスク回避を >

だが今、求められているのは安心して使える AI である。規制を有効に使えば、開発を後押しできるはずだ。営利を優先し、倫理が置き去りにされることがあってはならない。AI 研究でノーベル物理学賞を受賞し、米グーグルで深層学習の実用化を主導したジェフリー・ヒントン氏が 23 年に退社したのは、AI の脅威について公の立場で警鐘を鳴らすためだという。懸念されるのは、人間が AI への依存を強めることだ。アルゴリズムに潜むバイアスを見過ごしたまま AI に判断を委ねれば、社会に深刻な不利益をもたらす。

人間の知能を超える「シンギュラリティー」が到来するともいわれる。人間に代わって AI が社会を動かすような未来が訪れた場合、どのようなリスクが生じるのか見通すのは難しい。AI の基礎となる人工神経回路の学習理論を築いた数理工学者の甘利俊一・帝京大特任教授は、リスクへの向き合い方として「答えをうのみにせず自分の頭で考えることの楽しさや、人によって考え方が違うということ、子どものころから教育を通じて養うことが必要だ」と強調する。AI は暮らしを豊かにする道具であり、主役はあくまでも人間だ。想像力を働かせ、リスクに備えて対策を講じる必要がある。

毎日新聞 2026 年 1 月 12 日 (月) 朝刊